



# エキストラ 防犯カメラ

センサー警告灯とサイレン

---

取扱説明書

# 1 紹介

センサー警告ライト&サイレンを使用してスワンエクストラセキュリティカメラを購入しておめでとうございます。

- センサー警告灯は侵入者を抑止する
- より信頼性の高いアラートのための熱とモーションセンシング
- センサーライトが点灯しているとき、夜間は最大32/10mの色で見える
- 顔、ナンバープレート、クローズアップなどを見るための最先端のビデオ
- カメラは雨と雪の中で動作します、一年中
- 出入り口、庭、階段、死角などをカバー
- 日曜大工または専門的にパックの詳細とインストール

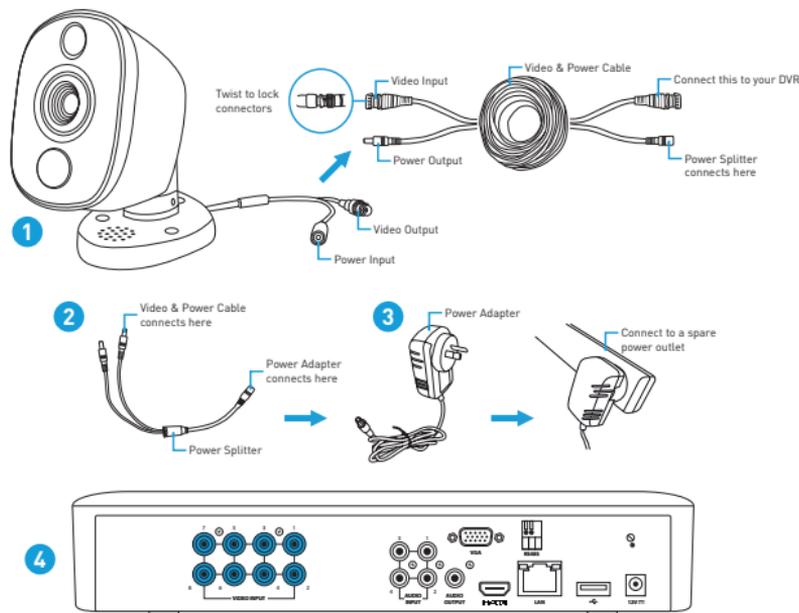
## 重要な手順

1. カメラが適切な位置に正しく固定されていることや、安定していることを確認してください。
2. 付属の電源アダプタ(12V)とパワースプリッター(付属している場合)を必ず使用してください。
3. 配線や端子が露出している場合は使用しないでください。

**注:** お使いのDVRに記載されているカメラの設置方法を参考にして、最適な場所を選んでください(ここに記載されているカメラ設置のヒントは一般的な方法です)。

**重要な注意事項:** 全ての国や地域において、カメラの使用に関する固有の法律や規制があります。購入者は、いかなる目的においてカメラを使用する前に、カメラの使用禁止や制限に関して適用される全ての法律および規則を認識する責任を負うものとします。

## 2 カメラを接続する



カメラ1台パックの場合、付属の電源アダプタを、ビデオおよび電源ケーブルの電源入力に直接つなぎます。

1. カメラのビデオ出力および電源入力の接続端子を、付属のビデオおよび電源ケーブルの対応する接続端子につなぎます。

2. 付属のパワースプリッターを、ビデオおよび電源ケーブルの電源入力につなぎます(カメラが複数ある場合は、この手順を繰り返します)。

3. 付属の電源アダプタをパワースプリッターのもう一方の端子につないで、その電源アダプタを空いている壁コンセントに差し込みます。

4. ビデオおよび電源ケーブルのビデオ出力を、お使いのDVRの空いているカメラ入力につなぎ、端子をひねって固定します。

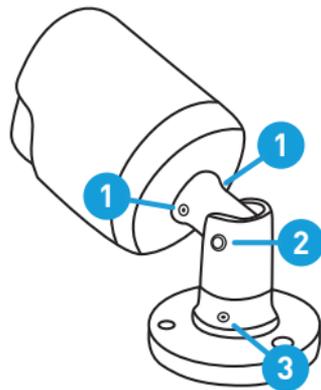
### 3 カメラを設置する

カメラは、付属のネジとアンカープラグを使って平らな場所に設置できます。設置面はカメラを支えるのに十分な強度が必要です。

- 設置したい場所にカメラを合わせて、設置面のネジ穴になる場所に印を付けます(設置用テンプレートが付属しています)。次に、カメラを取り付ける設置面に適したネジを使ってカメラを固定します。
- 設置面が木製の場合、カメラを設置面に直接ネジで固定します。
- 石造りの面(レンガ、コンクリートなど)に設置する場合は、アンカープラグを使用する必要があります。

#### カメラの向きを調整する

1. 両方のネジを緩めます(アレンキーを使用して)カメラの向きを調整します。これにより、カメラを回転させて、カメラがどの方向に向かおうと、画像が正しい方向に向かっかかるようにすることができます。各ねじを締めて、所定の位置に固定します。
2. ねじを緩めてカメラを上下に傾けます。ネジを締めて所定の位置に固定します。
3. カメラを左右にパンするには、ねじを緩め、適宜位置を調整します。ネジを締めて所定の位置に固定します。



## 4 カメラ設置場所のヒント

1. 監視対象物とそれがもっともよく映る場所を検討します。
2. 監視システムへのカメラのつなぎ方をどうするか。ケーブルと接続端子を外気にさらさなようにしてください。
3. カメラを安全な場所に設置するには。カメラを高い場所に設置することをお勧めします。
4. カメラが撮影対象にできるだけ近くなるようにします。最適なのは高さ約4mの場所で、細部まで映るように気を付けながら少し見下ろす角度で取り付けます。
5. カメラのライブ映像を見たときにきれいな空が映っているようでは、カメラが近づいている侵入者の方を向いていません。逆光で映像が暗くなる可能性があるため、映像に映りこむ空は最小限になるようにします。
6. あなたの自宅の侵入者が最も入りやすい経路を考えて、その経路が映るようにカメラを設置します。
7. カメラのケースはあらゆる気象条件に耐えることができ、耐タンパー性もあります。ただし、極めて強い力が加わったときにケースが破損する可能性があります。
8. カメラには耐候性や耐水性がありますが、直射日光や多湿などの悪条件に長時間さらすと、カメラの内部部品が破損したり、パフォーマンスが低下する恐れがあります。
9. ケーブルは壁の窪みまたは保護ケースを通し、すべての配線および接続端子に水が当たらないように保護します。
10. 通電中の配線の近くにケーブルを敷設しないでください。AC電流が電波「雑音」を生成し、カメラの信号と干渉が生じる可能性があります。

## 5 限定保証 - 規約

スワン・コミュニケーションズは、本製品の材料または仕上がりの欠陥に対して最初の購入日から1年間保証します。保証の妥当性を確認するため、購入の証明として領収書を提示する必要があります。上記の期間中に欠陥があることが判明したユニットは、スワンの独自の判断により、部品や労働コストを請求することなく修理するか、別の製品と交換します。エンドユーザーは、スワンの修理センターに製品を送るために発生した全ての送料を負担するものとします。また、エンドユーザーは、居住国以外の国から発送、または返送する際に発生した全ての送料を負担するものとします。

本保証は、本製品の使用または使用できないことから生じる偶発的、付随的または派生的な損害について保証するものではありません。店員または他の人物による本製品の取り付けや取り外しに伴う全ての費用、あるいは本製品の使用に関するその他の費用はエンドユーザーの負担となります。本保証は、本製品の最初の購入者のみに適用され、第三者に譲渡することはできません。権限を持たないエンドユーザーまたは第三者がコンポーネントに変更を加えた場合、全ての保証が無効となります。一部の国では、本保証にある特定の除外に関する制限が法律によって禁止されています。現地の法律に適用される場合、規制および法的権利が優先されます。

## 6 FCCの検証

本機器は、FCC規則のパート15に基づく検査を受け、クラスAデジタル装置の制限に準拠することが認められています。これらの制限は、住宅に機器を設置する際の有害な電波障害から適切に保護することを目的としています。本機器は、無線周波数帯域のエネルギーを発生、利用し、外部に放射する可能性があります。取扱説明書の指示に従って設置および利用しない場合、ラジオやテレビの受信に有害な電波障害を引き起こすおそれがあります。本機器の電源のオン/オフを切り替えることにより、これらの受信に有害な電波障害をもたらしていると判断される場合、ユーザーは電波障害を是正するために次の対策を講じてください：

- 受信アンテナの方向や位置を変える
- 機器と受信機の距離を離す
- 受信機が接続されている回路とは別の回路のコンセントに機器を接続する
- 販売店またはラジオ/テレビの技術者に相談する

これらの機器はFCC規則のパート15に準拠しています。機器の操作は次の2つの条件を前提としています：

- (1) これらの機器は有害な電波障害の原因となってはならない。
- (2) これらの機器は誤動作の原因となる電波障害を含め、受信する電波障害を許容しなければならない。

# ヘルプデスク&テクニカルサポート

[support.swann.com](https://support.swann.com)のスワンサポートセンターをご覧ください。専用のカスタマーサポートに製品を登録し、ガイドをダウンロードし、よく寄せられる質問に対する回答を見つけることができます。



製品登録



カスタマーサポート



製品マニュアル



よくある質問



サポート コミュニティ

